

自由意見

栗山から巣だって行かれた人達を呼び戻す機会を設ける。例えば、

- 1) 町内で開催されるクラス会への助成
- 2) 町内イベントなどのふるさと通信や栗山町カレンダー(町民が発送する)

就業、就学などある一定の期間（各種研修含む）来てもらえるような取り組みが必要だと思います。

老後もすみ良い町だと思います。移住定住者の年代をひろげるのはありますか？

栗山町は素敵な街です。今までたくさんの街に住んできましたが、こんなに素敵な街は無いと思います。派手な目立ったモノがあることが決して魅力的な街の指標になるわけではないと思います。栗山町の魅力を「言葉にする」「具現化する」を目標にして町民一丸となって努めていきたいですね。

何を持って「関係人口」とするのか定義があった方が良くと思います。今回のお話しは町民対象のものが多く印象でした。関係人口を創出するのであれば、もう少し町外に向けた施策があった方が良いのではと思います。

家賃が高い、魅力がある仕事がないのが若者離れの原因だと思う。

企業誘致の取り組みに、重点を置いて欲しい。

一部の知らない人だけで勝手に色々やっている事が多い気がします。町民巻き込むなら、農商工含めて町民一体となって出来ることをしないと、この様なアンケートは無意味だと思います。

まずは町民全体で活動内容を周知して町民全体で受け入れ体制を作らないと、希望を抱いて移住しても余所者感でいっぱいの方々は多いようです。個人的に関わるのは良いですが、なかなか受け入れられないのが現実かと思います。

働ける場所があって、若者の流出を止めて、若者が増える町になる事を願っております。

まちづくりの取り組みと並行して栗山町にある自然、企業、農業、林業、観光業に取り組む人達からも現場の声を聞いてまず自分達の町を誰よりも『知る』ことが大事だと思います。それを他人話すことによって説得力があり、栗山町に対する愛着さんも伝わるはずなので。

若者が出来る仕事がある事。

色んなチャレンジができる体制・仲間がいると盛り上がりそうですね！！

コロナでイベントが出来ないのもあるかと思いますが、町と町内の商店・飲食店などとの連携が見えづらい

Zoom 婚活などを開催して欲しい

自由意見

関係人口をふやすには、栗山町を知ってもらうきっかけが必要だと思います。栗山町はクリエイト、オオムラサキ、移住、栗のブランド化、メロン男子などユニークや取り組みが多いイメージです。今後それぞれ分野だけでPRするだけでなく、民間含めた栗山町全体の面白い取り組みが分かるツールがあればいいなと思います。行政だけでは難しいかもですが、民間との連携を行えばと思います。

栗山町を盛り上げたいと取り組む方達への支援のしどころや仕組みを精査する必要があると思います。

この様な企画や検討や意見交換の場を、より有効な形で広められればと思います。若い方が元気に愉しく過している栗山が見たいし、それを永続的に繋げるべく、創造し続ける若者をみていたいなー。

先日、友人が栗山に遊びに来てくれたのですが、「栗山って思ってた以上に栄えてる！田舎じゃない！」と言ってくれました。前にも何度か同じようなことを言われたことがあり、これは栗山の魅力の一つであると思ったので、こうした特徴をより多くのひとたちには伝えられる方法があればと感じました。

栗山高校を三笠高校や岩農のように特別な科をつくり魅力あるものになってほしいです。
また、お店、喫茶店も古民家を生かしたようなオシャレな場所、もしくは湯地の丘に他にもオシャレなレストランができたらいと思います。
3dプリンターなども、体験講座だけではなく、お金を払えばいつでも個人で使えるようにしてほしい。

役所のアホ共がしっかり仕事してくれたら、それでいい。

それと役所のアホ共の給料減らせよ

栗山町に住民票を移している若者にインタビューをし、広報紙に掲載することによって若者が栗山に対する愛着をより持つと思います。

町外在住ですが青年会議所メンバーとしてアンケートさせて頂きましたのでよろしくお願いします。

栗山に実家があります。父が高齢で、いずれは家を手放します。空き家を有効活用していただける所がないか情報収集している所です。

栗山町には働く場所が無いので、関係人口を増やそうという取り組みは賛成です！

栗山町は、客観的に見たら何も無い、通り道と見られがち。だけど、それならそれで割り切り、何も無いからこそ創造できる価値、魅力、人の呼び込み方はある。
今ある資源に、町民や行政が目を向け、ブラッシュアップする必要性から気付くことが大切。

年を重ねた方が無料で座れる暖かい場所の増設(図書館/EKI/のような場所)

自由意見

もともと住んでる人と、移住してきた人との仲の悪い感じがします。移住者に手厚い補助があるくらい、もともと住んでる人にも手厚い補助が必要だとおもいます。移住者はずるいといった事をよく聞きます。

長期的に考え、子供達に栗山に将来地元に戻りたい、貢献したいと考えてもらえるよう、教育現場との連携が必要だと考える。

栗山高校にものづくり科と放送科を新設してこれから取り組もうとするものづくりやFMと教育をマッチングさせ卒業後も栗山で働ける環境若しくは栗山をPRしてくれるところ（放送局）への就職を売りにして若者が行きたい町栗山町を目指してレンガ倉庫を町の人材発掘基地として活かす

栗山町は以前から町外からの人達には優しく色々しているが、元々住んでいる者に対してほとんど何もしてくれない。（町外からの子育て世帯の移住者には住宅取得の助成金を出したり）どうして元々栗山にいる人にはないのか。栗山は家賃等が高いから、隣町に引っ越し栗山に通勤している若い家庭もたくさんいる。町外（特に本州からの移住者）からの人たちがばかり優遇して何かいいことがあるのだろうか。地域おこし協力隊等を含めてそういった方たちがこの町にしていることは自己満足でしかないと思える。人口を増やしたいのであれば、子育て世帯の水道料金を一部助成する（栗山町の上下水道料金はあり得ないくらい高い）とか、もっと現実的な政策を考えないと人口減に歯止めはかからないでしょう。

若者を呼ぶ(世帯を増やして、子どもの人口を増やす)のであれば、住宅補助や子育て関係の支援など、町全体での生活応援などが、明確に分かる資料などがあればいいと思う。

新しい団地に関して、入居情報などは知らないのですが、栗山町は街中(役場を中心として)の家賃が高すぎる。

この政策は、楽観的で現実と乖離している。何がおかしいのかはいつでも説明します。サunkコストの呪縛に陥らないようにしたいところ。
